

大田区の医工連携について

- 地域間連携の取組み -



公益財団法人

大田区産業振興協会

医工連携支援室 医工連携担当

アシスタントリーダー 多田見 茂

大田区について

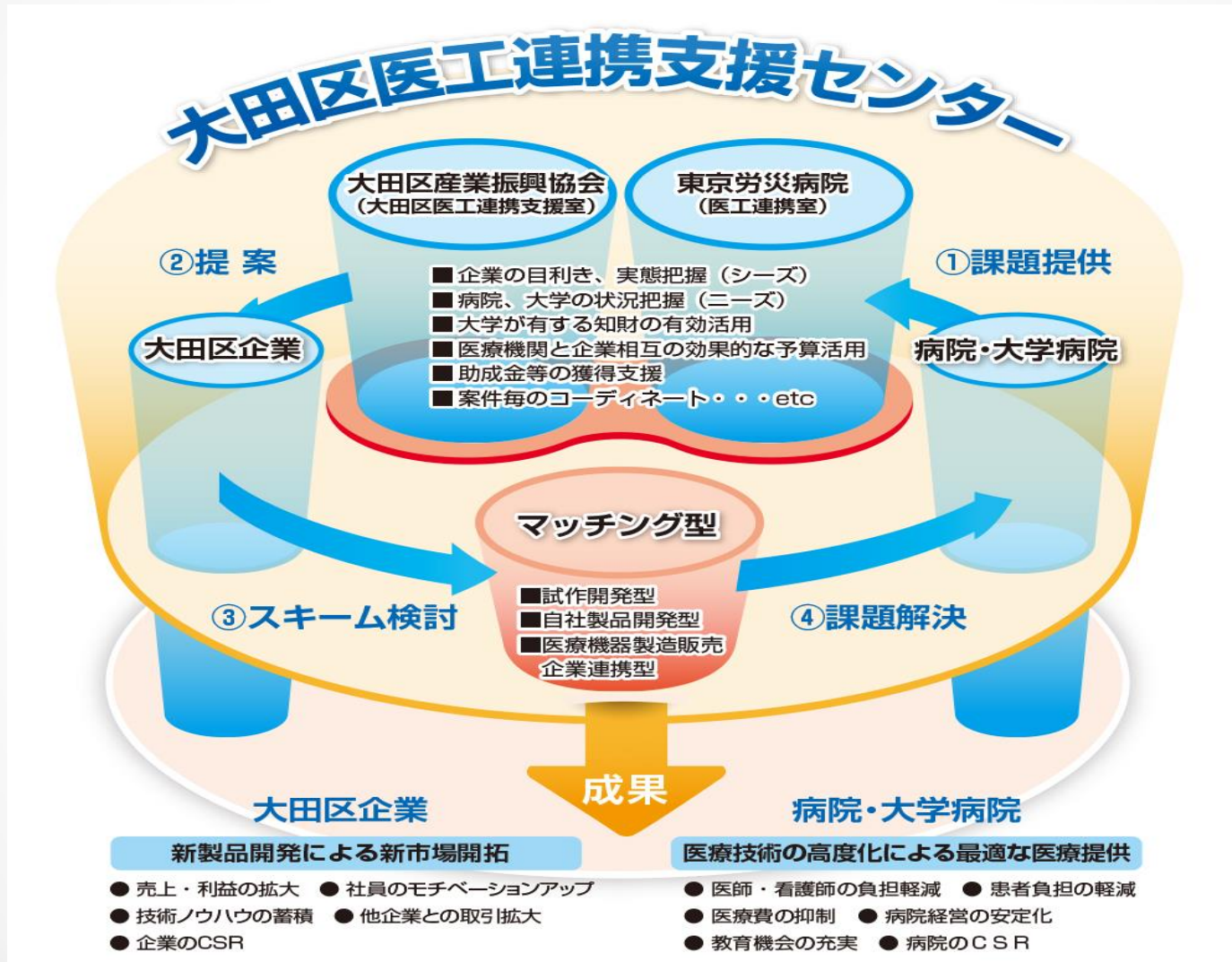


大田区企業の特徴

- 区内に約3500社のモノづくり企業が集積
- 首都圏のリーディング産業に鍛えられた多様な技術を保有 ⇒ 「多種・複雑なニーズや課題」への対応が可能
- 難加工が得意
- 各企業間のネットワークが充実
- 多品種少量生産が得意
- 試作・開発が得意
 - ⇒ 「一品一様の試作」にも好んで挑戦
 - ⇒ 「大学等とのコラボ」は先端・先進技術習得の手段と心得

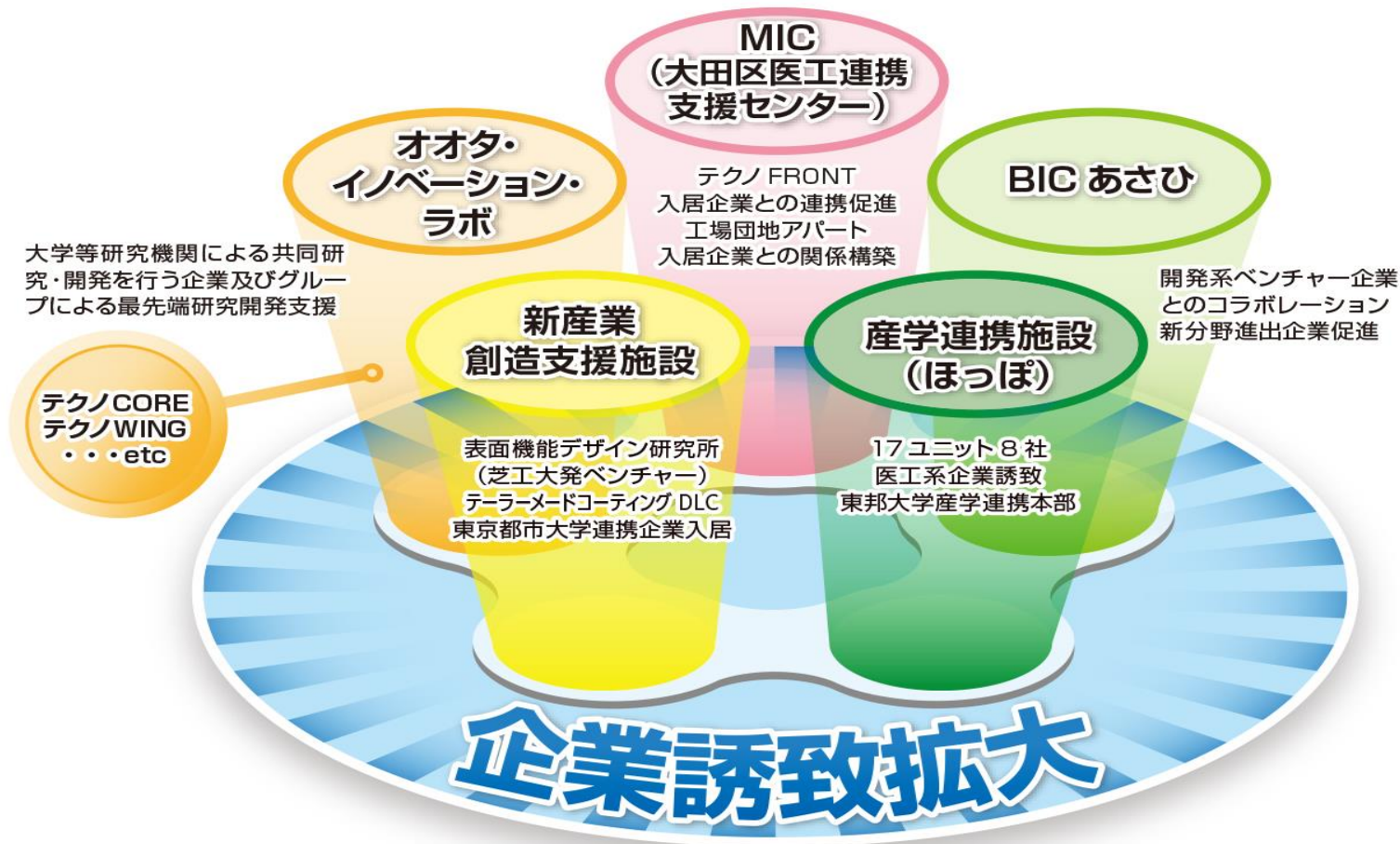
“提案型（研究開発型）” マインド強し

医工連携スキーム

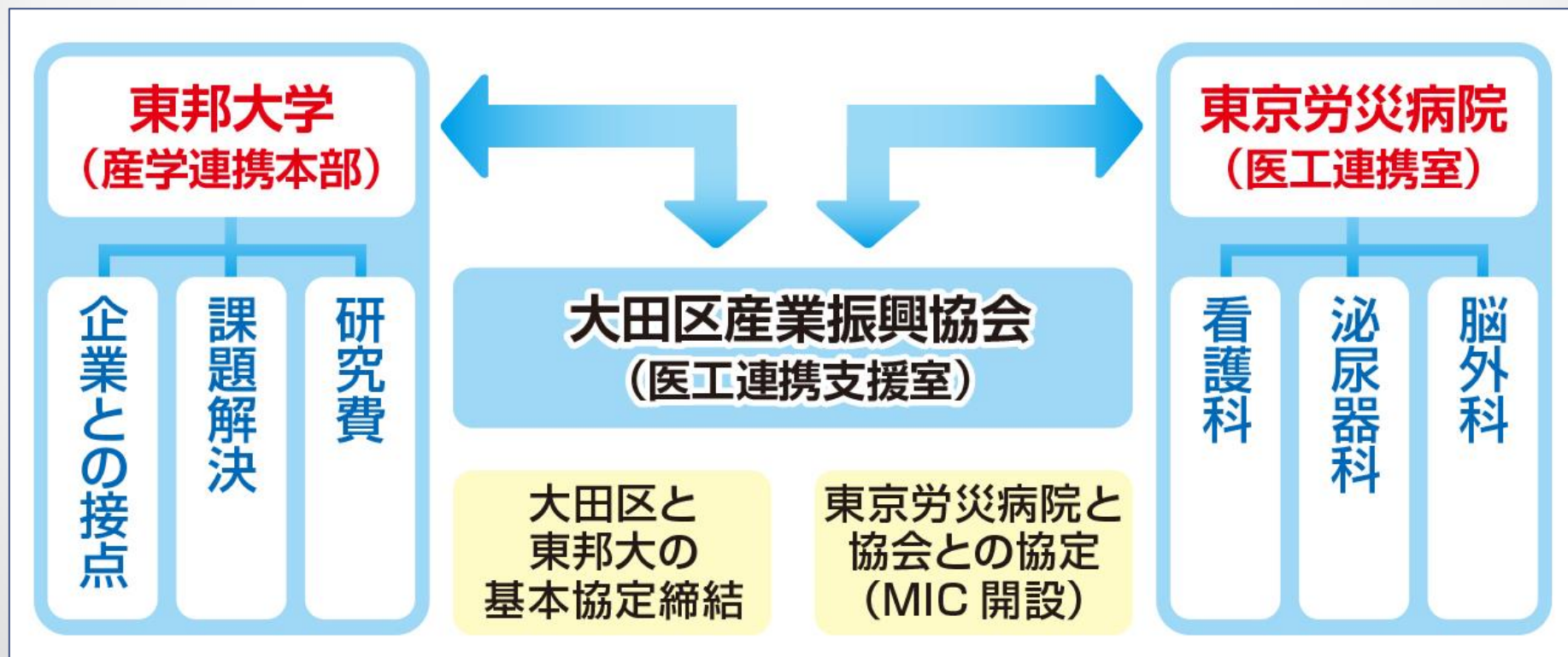


大田区内施設間連携

産学連携事業の施設間連携



パートナーシップイメージ



大田区医工連携支援センター開設

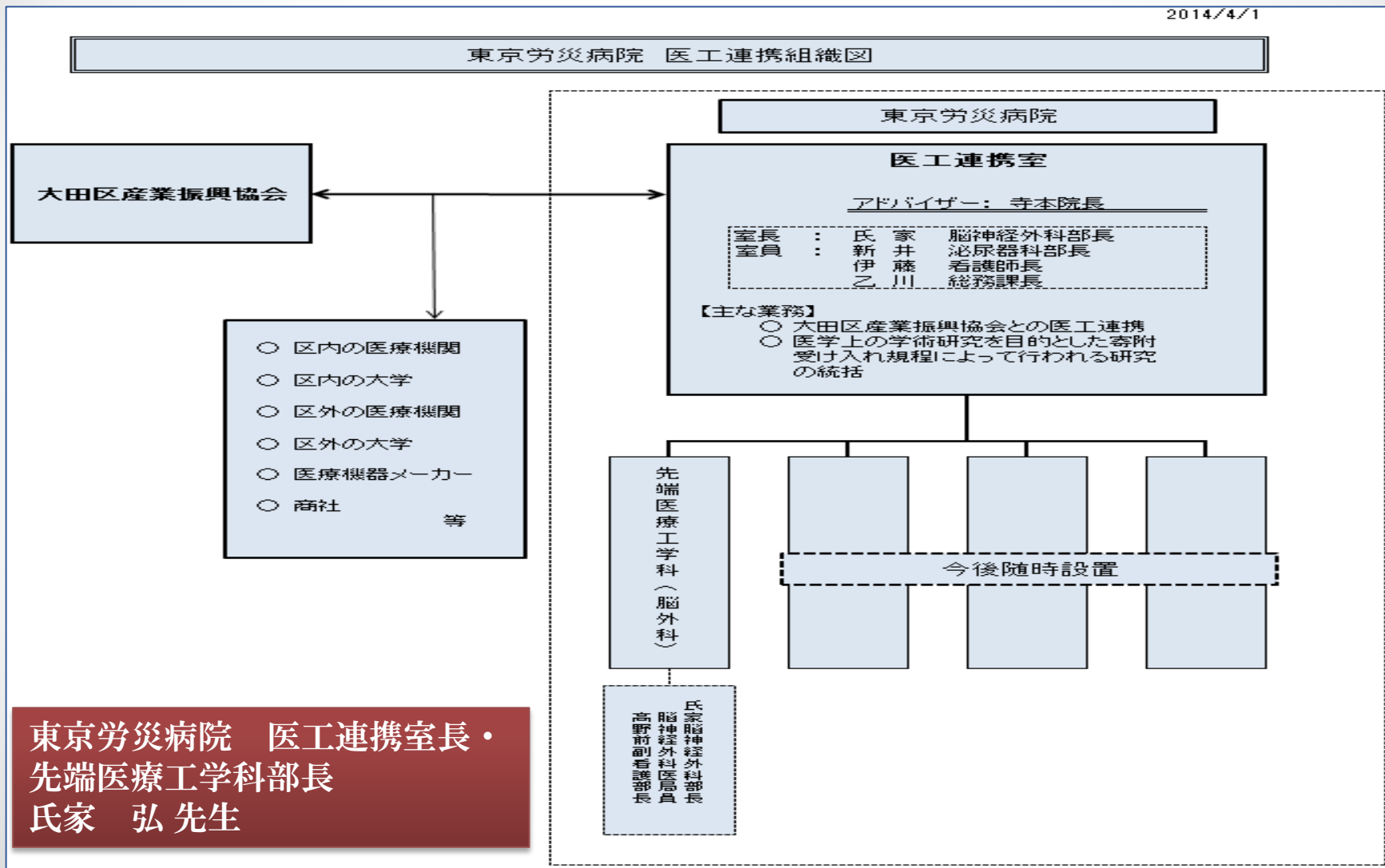
医療機関と大田区モノづくり中小企業の連携を支援する拠点として大田区大森南四丁目工場アパート「テクノFRONT森ヶ崎」内に東京労災病院医工連携室と協会の医工連携支援室が一緒になって平成24年11月に開設。



東京労災病院 医工連携室・先端医療工学科

2014/4/1

東京労災病院 医工連携組織図



東京労災病院 医工連携室長・
 先端医療工学科部長
 氏家 弘 先生

東邦大学産学連携本部との連携

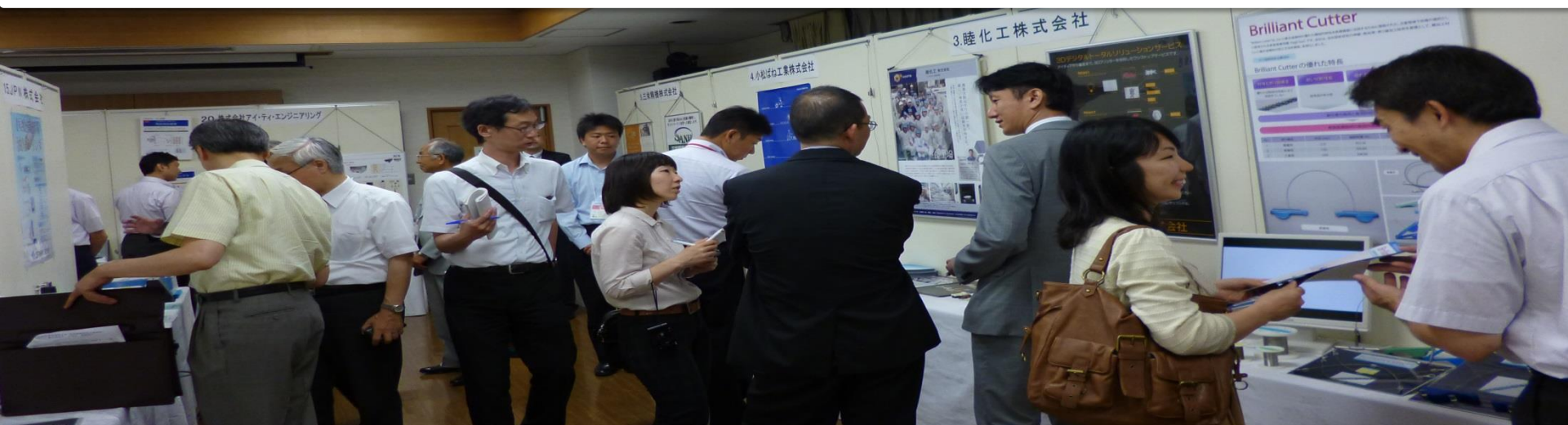
各種産学連携活動への積極的な参画を推進するべく平成21年11月に「東邦大学産学連携センター」が設置され平成22年1月より稼働。同センターは、平成24年3月産学連携活動の強化を図ることにより、更なる研究の活性化、外部資金獲得の向上、社会貢献を図るため、大田区産学連携支援施設（旧大田区立北蒲小学校）に入居。



本郷展示会・商談会

- 第1回 平成25年6月14日(会場:PiO)
- 第2回 平成26年6月19日(会場:医科器械会館)
- 第3回 平成27年1月29日(会場:文京シビックホール)
- 第4回 平成27年2月25日(会場:医科器械会館)

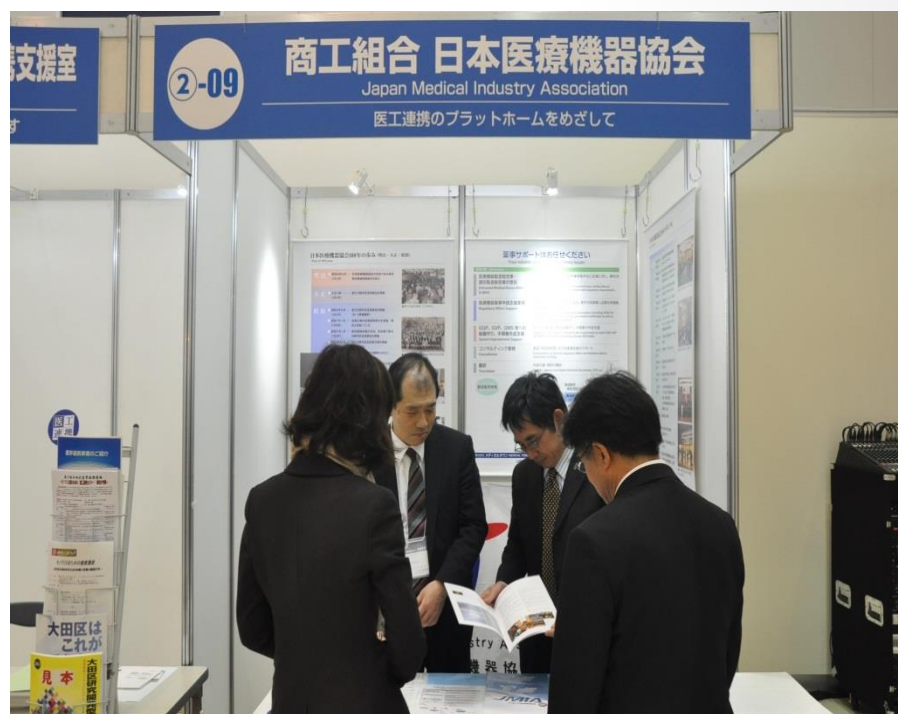
本郷エリアの製販企業等と大田区企業とのマッチングイベント



- ◆本郷エリアど真ん中の会場(医科器械会館等)で大田区企業が出展
- ◆本郷エリアを中心に製販企業等が来場、医工連携マッチング
- ◆コーディネータが公的資金獲得を含めフォローアップ

大田区と文京区との提携

医療関連産業の連携に関する協力関係構築 (平成26年2月14日)



文京区展示会開催（連携活発化）

平成27年1月29日 @文京シビックホール
大田区企業26社、文京区企業2社、医療系大学3校、
大田区、文京区 33団体



医工連携支援による事例

医療機器 メーカー	第一医科株式会社 （本社：文京区本郷2-27-1） 事業：医療機器の製造販売および輸出入業務 頭頸部科（主に耳鼻咽喉科・脳神経科・形成外科）領域における診療・診断検査機器 その他：日本医療機器学会、日本医療機器工業会、日本医療機器協会の正会員、 他
大田区企業	株式会社玉川パイプ （本社：大田区南六郷2-21-11） 事業：鉄鋼業（引抜鋼管・一般鋼管の加工） その他：創業55年の歴史で築いた加工ネットワークを活かした製品製作のハブ企業として機能
案件発生日	平成25年6月14日、第6回大田区加工技術展示会会場
テーマ	耳鼻咽喉科向け「 への字型吸引管 」最細径モデルの量産化
課題	展開中の真鍮製「への字型吸引管」における先端外径が最細径の製品（φ1.6mm）は現在スウェーピング加工では先端部の割れを解消できず、手巻き加工で製作しているため、他のサイズの吸引管と合わせた生産効率が上がらず課題になっていた。
進捗	(株)玉川パイプが、中心となって焼鈍工程などを見直し、仲間の知見を取り入れ、割れの課題を解決して製品化を達成した（現在、他のサイズの吸引管へスウェーピング加工を拡大展開中）。

開発製品工程



スウェージング加工後の製品



曲げ加工、メッキ、接続部の加工などを付加した最終「への字型吸引管」



(左) 加工前の素管

(右) スウェージング加工後の先端絞り形状

SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）

東工大-大田区協創による喜びを創出する革新的ものづくり環境の構築と快適支援機器の設計製造技術の開発（平成26年～）

大田区産業振興協会

価値向上軍連携仲介、
ビジネスモデル構築、
技術移転、事業化等

中小企業群

横請けネットワークによる
機械加工

東京工業大学



デザイン工房による
設計手法の提案と
拠点構築、支援機器設計開発、
アクチュエーターの
設計製造技術開発

あずさ監査法人

事業計画、内部体制策定、
オープンイノベーション、
支援、機会創出

東京医科歯科大学

支援機器の設計開発と
実証実験

日本空港ビルデング

協創による機器開発と
実証実験施設、オープンな
試験環境構築

<研究開発体制>

デライト・ウェアラブル
スーツの開発



空港内快適移動支援
カートロボットの開発



今後の展開について

各種認証・許可等取得支援事業（平成27年度～）

許認可等の名称	助成の対象となる費用	助成金上限額
医療機器製造業許可	書面審査手数料	10万円
医療機器製造業許可更新	適合性実地調査手数料	
医療機器製造業許可区分追加		
医療機器製造業許可区分変更		

許認可等の名称	助成の対象となる費用	助成金上限額
新医療機器製造販売承認	国及び調査機関に支払う手数料	75万円
改良医療機器製造販売承認		
後発医療機器製造販売承認		
新医療機器製造販売一部変更承認		
改良医療機器製造販売一部変更承認		
後発医療機器製造販売一部変更承認		

助成の対象となる費用の1/2の額、または助成金上限額のどちらか少ない金額を助成

医療機器開発支援ネットワークとの連携



MEDIC 医療機器開発支援ネットワーク ポータルサイト
MEDical Device InCubation platform

ものづくり企業と医療機関の連携により医療機器産業を日本経済のリーディング産業へ
医療機器開発支援ネットワーク ポータルサイト MEDIC

- ◆臨床ニーズの収集
- ◆大田区ものづくり企業との連携
- ◆他地域の企業との連携



伴走

ご清聴ありがとうございました。